

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公表番号】特表2009-542478(P2009-542478A)

【公表日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2009-048

【出願番号】特願2009-518527(P2009-518527)

【国際特許分類】

B 2 9 C 63/02 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 2 9 C 65/02 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C	63/02	
B 3 2 B	27/00	E
B 2 9 C	65/02	

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月28日(2010.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基材上にハードコート組成物をコーティングし、ハードコート層を形成することと、
ハードコート層を硬化し、硬化ハードコート層を形成することと、
硬化ハードコート層上に熱可塑性層を配置し、透明ハードコート複合フィルムを形成すること、

グラフィック基材上に透明ハードコート複合フィルムを熱及び圧力で積層することと、
を含み、熱可塑性層は軟化してグラフィック基材に付着し、保護グラフィック基材を形成する、グラフィック基材の保護方法。

【請求項2】

積層工程後に基材を透明ハードコート複合フィルムから除去することを更に含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

熱可塑性層上に硬化ハードコート層を有する透明硬化ハードコート複合フィルムを提供することであって、その際、該硬化ハードコート層は1~15マイクロメートルの範囲の厚さを有し、熱可塑性層は0.5~5マイクロメートルの範囲の厚さを有することと、
熱可塑性層上に画像を印刷すること、

グラフィック基材上に透明ハードコート複合フィルムを熱及び圧力にて積層ことと、を含み、熱可塑性層は軟化してグラフィック基材に付着し、保護グラフィック基材を形成する、グラフィック基材の保護方法。

【請求項4】

提供工程が、熱可塑性層上に硬化ハードコート層を有し、剥離ライナーが硬化ハードコート層上に配置された透明硬化ハードコート複合フィルムを提供することを含む、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

剥離ライナーと、

剥離ライナー上に配置される、1～15マイクロメートルの範囲の厚さを有する汚れ及び引っかき傷抵抗性硬化ハードコート層と、

硬化ハードコート層上の、0.5～20マイクロメートルの範囲の厚さを有する熱可塑性層と、を含む、透明硬化ハードコート複合フィルム。